

# 産業建設常任委員会活動レポート

開催日：令和5年2月10日(金)

開催場所：1・2号委員会室

## 建設水道部

### 1. 緑ヶ丘森林公園キャンプ場について

基本計画策定の整備コンセプトについては『広域からの集客を増やし、町民にも愛される施設整備』、顧客ターゲットについては『道東圏のファミリー層とバイク利用者』とし、ハード面では車路・駐車場の新設整備やオートキャンプサイトやフリーキャンプサイトの新設・整備など、ソフト面ではホームページの更新とネット予約システムの導入やパンフレットの作成やキャンプ場利用ルールの明文化などの説明を受けました。

#### 【主な質疑】

委員：ターゲットはファミリー層ですが、キャンピングカーの利用もあるため、乗り入れの宿泊はできますか？

担当：令和6年度整備の予定でオートサイトを検討しているため、その中で区画の面積など、キャンピングカー乗り入れも併せて検討していきます。

委員：キャンプ場内へのペットの入場は禁止されていますが、しつけができていたペットは同伴可能にするなど、条件付きの利用ができれば、利用度も上がると思われます。また、今後ドッグランの設置等は検討できないでしょうか？

担当：公園条例で迷惑行為が禁止となっていることや、今の状態だと管理が難しいため将来的な検討事項としていきます。

委員：今では道の駅でもドッグランを設置しており、ペットがいることで利用の制限とならないように、将来的にはではなく簡易的でもドッグランを設置すべきだと思います。

### 2. 町営住宅について

公的住宅に関連する個別計画として「中標津町公営住宅等長寿命化計画」を策定し、計画期間を平成30～令和9年度の10年間としていました。

しかし、本格的な少子高齢、人口減少時代を迎えるとともに、新興感染症の流行、物価の高騰など急速な社会情勢の変化により、町を取り巻く状況も大きく変化しています。さらに町の最上位計画である第7期中標津町総合計画をはじめとした各種関連計画が見直されたことから、中間年次を迎える令和4年度に見直しを行い、新たな計画期間を（令和5年～14年度）とする改訂計画を策定していくとの説明を受けました。

令和4年度現在、738戸の町営住宅を管理しています（道営を含める863戸）。令和

4年度の段階で208戸（28.2%）が既に耐用年数を経過しています。

本計画では、令和14年度の管理戸数を640戸（道営を含む）と設定しています。この目標管理戸数を目指し、計画的な建替、改善、維持管理を実施していくこととします。

また、公営住宅の建替え計画は、バリアフリー化はもちろん、ユニバーサルデザイン化、地場産材の活用、中標津町景観計画に基づく景観、環境に配慮した整備、脱炭素化等に取り組んでいきます。

#### 【主な質疑】

委員：点検結果のデータベース化について、法定点検は有資格が必要となることから、町内の有資格者に協力してもらいながら点検をしていくべきでは？

担当：法定点検は今後導入していきますが、役場職員による対応を考えています。

## 経 済 部

### 1. 学校法人岩谷学園について

学校法人岩谷学園の専修学校開設場所の東7条南9丁目6番ほか3筆の土地使用貸借契約書の条項変更後の説明を受け、全体及び変更条項の質疑を経た後、土地使用貸借契約書の承認をしました。

これにより3月1日付けの契約に向け準備を進めたいとのことで、それについても了承しました。